

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	ふれあい研修センター管理運営事業	5-13
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1 2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173
担当部長	飯尾徹	担当課長	清水雅季
		担当者	板谷英都

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	「ふれあい研修センター」の管理運営業務(高岡、北生振、生振、五の沢の4地区に設置)		
(2)事業開始年度	平成6年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習施設の内容及び管理運営体制の充実	
	施策コード	50103	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	地域住民が自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整える。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	より多くの地域住民に利用してもらう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	指定管理者制度を導入し、地域住民で構成される「運営委員会」に施設を管理運営させることで、地域住民の定期的・主体的な利用を促す。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	協定を結ぶ際には、地元と管理運営内容を十分に協議して進めている。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	3,179	5,283	4,606	4,087
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	1,657	449	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	5,769	6,940	5,055	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.20	0.05	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
利用件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	604	534	530	
	達成率	-	-	-	
施設数(箇所)	目標値	4	4	4	4
	実績値	4	4	4	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	9,241	7,788	7,156	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			イ 成果
(2) 効率性			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B
			12~15 B or C
			16~21 D or E
			<b>14</b>

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	地域唯一の交流拠点であり、極めて重要な施設である。しかし、利用者については、地域の人口減少などの影響により、長期的な減少傾向にある。	
(2) 今後の方向性・課題		地域の交流拠点であり、一部は災害時の避難所にも指定されていることから、今後も継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	利用者数の減少はあるが、地域の交流拠点として必要な施設である。	
(2) 今後の方向性・課題		地域交流拠点として、継続が必要であるが、今後、施設のあり方の検討も必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		